

基礎情報

No. 97	名称 やまさんよんななよんぶたいいれいのひ
不明	山三四七四部隊慰霊之碑

建立年月日 1981(昭和56)年11月5日	改修・移設等歴 2003(平成15)年11月3日タヂリガマより移設
---------------------------	--------------------------------------

所在地番 糸満市字真壁仲間下原1292	座標 26.10708833	127.69296917	地目 雑種地	地積(m ²) 2,255.00
------------------------	-------------------	--------------	-----------	---------------------------------

規模(幅M×奥行D×高Hcm) [主碑]全体:189*215*199、碑身:85*26*70

素材 【主碑】碑身・脚:黒御影石磨き仕上、上台:琉球石灰岩ビシャン仕上+正面貼付け[由来記板:琉球石灰岩ビシャン仕上]、中台:鉄筋コンクリート造黒御影石プレート張り、下台前側:CB積み、下台後側:鉄筋コンクリート造
--

建立者 山三四七四部隊遺族会	管理者 不明
-------------------	-----------

碑文等

【主碑】
 <前面>山三四七四部隊 元満州第八八部隊/慰霊之碑/岩門町長 奈良敬花書

<上台前面>碑誌/山四七部隊の慰霊碑は、1981年(昭和56.11.5)に宇真壁の個人所有地タヂリガマに建立し22年間慰霊祭を開催、ところが地盤損傷と永代供養も考慮し、地元宇真壁区長金城一男様外役員のご高配を賜り、2003年(平成15.11.3)に萬華之塔敷地内に移設しました。/慰霊碑を守る会 奥田武志・新垣純子・小林良男・小西正二

<後面>碑文/山三四七四部隊は歩兵第二十二聯隊の戦時に於ける名称である。/聯隊長吉田勝大佐以下三千有余名は昭和二十年四月十日豊見城を出発、戦闘配備につき、其の後幾転戦、六月下旬連隊本部の最後まで戦い抜いた。/こゝ、真壁タヂリガマの壕は六月十五日まで聯隊本部があり戦傷患者収容の壕でもある、此の地に慰霊碑を建て、亡き戦友と住民の霊をなぐさめたいと考え、「土地所有者」の御厚意と関係者の方々の御協力により、部隊生存者の積年の悲願である碑を建立し諸霊をなぐさめ、もつて不戦の誓いとし、永久の平和を祈念致します。/(この壕生存者、前原軍医以下六十有余名である)/昭和五十六年十一月五日/山三四七四部隊の会/遺族会

【右脇碑】
 <前面>忠魂/近藤忠義
 <後面>平成五年十月共和町宮工/近藤博美建之

【附加碑】
 <前面>俗名谷嶋秀敏
 <後面>平成十六年九月十二日没/行年 八十二才

写真

